



各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム  
代表者名 代表取締役社長 藤井由実子  
(コード番号：3814 東証グロース)  
問合わせ先 常務執行役員 菊本健司  
電話番号 0836-39-5151  
U R L <https://www.afs.co.jp/>

## 通期業績予想と実績の差異及び特別損失の計上並びに棚卸資産評価損の計上に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえ、2023年8月10日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました、2023年9月期業績予想につきまして、実績との差異が発生することとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、当社は2023年9月期（2022年10月1日から2023年9月30日）において、特別損失及び棚卸資産評価損を計上いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想と実績との差異について

2023年9月期通期個別業績予想と実績との差異（2022年10月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,800	百万円 100	百万円 70	百万円 158	円 銭 49.32
当期実績（B）	1,780	56	32	104	29.65
増減額（B－A）	△19	△43	△37	△53	
増減率（％）	△1.07	△43.26	△53.20	△33.60	
（ご参考）前期実績 （2022年9月期）	1,336	△515	△553	△598	△209.35

#### 2. 差異の理由について

2023年9月期通期業績は、2023年4月28日に開示しました「Orion Star 社製 配膳・案内ロボットに関する、双日株式会社と国内の外食・飲食業への独占販売店契約締結のお知らせ」の通り、当社はOrion Star社の日本総販売代理店となった双日株式会社と外食・飲食業のOrion Star社製配膳・案内ロボットに関して、国内における外食市場向けの独占販売契約を締結し当社呼称サービスショット「α8号」などAIロボットの販売を開始したことにより、これまでのAIロボットの2次開発費用5百万の償却および関係会社株式評価損19.9百万の特別損失の計上を行いました。また、保守的に棚卸資産評価損12百万円を売上原価に計上し、及び増資による租税公課20百万を販売費及び一般管理費に計上を行ったことにより、前回発表から減収減益となりました。

以上の理由により、2023年8月10日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」で公表した業績予想から、売上高は前回予想比△19百万円の1,780百万円、営業利益は前回予想比△43百万円の56百万円、経常利益は、前回予想比△37百万円の32百万円となっております。また、特別損失（関係会社株式評価損19.9百万円）を計上したことにより、前回予想を下回る当期純利益104百万円となっており、通期の個別業績予想値から差異が発生することとなりました。

### 3. 特別損失の計上について

当社が出資しておりますビジネスロボット株式会社の株式評価につきまして、取得価額に比べて実質価額が下落していることから、監査法人と協議の上、関係会社株式評価損 19.9 百万円を特別損失として計上することといたしました。なお、この評価損計上による、現預金の減少はございません。また、当社ロボット事業の拡販についても影響はございません。

上記の特別損失の計上につきましては、2023 年 11 月 13 日公表予定の「2023 年 9 月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に反映しております。

### 4. 棚卸資産評価損の計上について

棚卸資産の正味売却価格が帳簿価額を下回ったことから、帳簿価額を正味売却価格まで減額し、当該減少額を棚卸資産評価損 12 百万円として売上原価に計上することといたしました。

上記の棚卸資産評価損の計上につきましては、2023 年 11 月 13 日公表予定の「2023 年 9 月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に反映しております。

以 上